

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	095									
事務事業名	長塚節文学賞経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	05	目	05	事業	03
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課		担当係	文化					係									
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的

☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	長塚節文学賞は、節のふるさと常総を全国に発信するため、旧石下町時代から開催している事業で21回目を数える。平成30年度は、夏休みに講座を実施し、短歌、俳句、短編小説の3部門合計で10,958点の応募があり、前年度より作品数は増加したことから今後も継続して講座を行って作品数の増加を図る予定であるが、作品数は第16回のピーク時の半分程度になっている。	誰・何を対象に	全国の文芸創作者、長塚節の研究者・愛好者など	望ましい状態	市が開催する数少ない全国大会であり、作品が毎年増加していくとともに、質の向上も図られ、この賞に入賞することを国内外から望まれるようになること。
どのような方法・手順で	長塚節文学賞を創設し、短編小説、短歌、俳句の作品を募集し優秀な作品を表彰する				

3 事務事業の主たる成果指標

☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	単位	点	目標値	2019年度	2020年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)
応募作品数			21,000	7052	6470	全国に情報発信している反応を応募作品数で一応の目安とすることができると考える。平成28年度(第19回)に応募期間の変更などにより作品数が減少したが、作品数は回復してきており、水害前のピーク時への回復を考えていきたい。

4 事務事業の実績 ㊦

☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	2016年度			2017年度			2018年度								
	業務名	活動量	点	業務名	活動量	点	業務名	活動量	点						
事務事業を構成する主な業務	① 作品の募集・受付	5ヵ月		① 作品の募集・受付	5ヵ月		① 作品の募集・受付	5ヵ月							
	② 審査の依頼	3部門		② 審査の依頼	3部門		② 審査の依頼	3部門							
	③ 審査会の開催	3部門		③ 審査会の開催	3部門		③ 審査会の開催	3部門							
	④ 運営委員会の開催	1回		④ 運営委員会の開催	2回		④ 運営委員会の開催	2回							
	⑤ 編集委員会の開催	1回		⑤ 編集委員会の開催	1回		⑤ 編集委員会の開催	1回							
	⑥ 入選作品集の作成	1回		⑥ 入選作品集の作成	1回		⑥ 入選作品集の作成	1回							
	⑦ 表彰式の開催	1回		⑦ 表彰式の開催	1回		⑦ 表彰式の開催	1回							
	⑧ 入選作品集等の送付	1回		⑧ 入選作品集等の送付	1回		⑧ 入選作品集等の送付	1回							
	⑨ 次回募集要項及びポスターの作成	1回		⑨ 次回募集要項及びポスターの作成	1回		⑨ 次回募集要項及びポスターの作成	1回							
	⑩			⑩			⑩								
	⑪			⑪			⑪								
	⑫			⑫			⑫								
目標値に対する実績値			7052	目標値に対する実績値			6470	目標値に対する実績値			10958				
決算額	計	3,982,579 円	内訳	特定財源	797,000 円	計	3,976,053 円	内訳	特定財源	948,000 円	計	3,752,677 円	内訳	特定財源	916,000 円
				一般財源	3,185,579 円				一般財源	3,028,053 円				一般財源	2,836,677 円
		(住民一人あたりの行政コスト)			65 円		(住民一人あたりの行政コスト)			66 円		(住民一人あたりの行政コスト)			63 円

5 担当者評価 ㊦

☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標未達成	成果内容	市内の学校へのPRが効果を表し作品数は前年度に比べて大幅に増えているが、目標値にはまだ遠く及ばないことから、引き続き地道なPR活動を続けていくことが求められる。
問題点			作品数の減少については、時期の問題ばかりでなく、担当課のPRの充実や新たな働きかけ先の発掘など、まだできることがあるか考えていく必要がある。また、受益者負担のあるコンテストである以上、入賞者に送られる賞品(賞金)、記念品についても、応募を増やすための一要素となりうる事から、財政措置を含めて今後充実させていか検討する必要がある。

6 担当部長及び担当課長評価 ㊦

☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

長塚節のふるさとという地域特性を全国的に発信するために必要な事業であり、参加作品は微減の方向にあるが、開催することの意義を考え、現行どおりとした。

7 実施計画 ㊦

☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	2019年度	2020年度	2021年度						
事業内容	・作品の募集・受付 4月1日から9月13日で募集予定 ・審査の依頼 ・審査会の開催 11～12月に審査員の予定を確認して開催予定 ・運営委員会の開催 ・入選作品集の作成 作品集は一般の応募者と小・中・高の入賞者に配布し、残部は有償で頒布 ・表彰式の開催 平成32年2月8日に実施予定 ・入選作品集等の送付 ・次回募集要項及びポスターの作成	・作品の募集・受付 4月1日から募集予定 ・審査の依頼 ・審査会の開催 11～12月に審査員の予定を確認して開催予定 ・運営委員会の開催 ・入選作品集の作成 作品集は一般の応募者と小・中・高の入賞者に配布し、残部は有償で頒布 ・表彰式の開催 平成32年2月に実施予定 ・入選作品集等の送付 ・次回募集要項及びポスターの作成	・作品の募集・受付 4月1日から募集予定 ・審査の依頼 ・審査会の開催 11～12月に審査員の予定を確認して開催予定 ・運営委員会の開催 ・入選作品集の作成 作品集は一般の応募者と小・中・高の入賞者に配布し、残部は有償で頒布 ・表彰式の開催 平成32年2月に実施予定 ・入選作品集等の送付 ・次回募集要項及びポスターの作成						
成果指標	指標名 応募作品数	指標名 応募作品数	指標名 応募作品数						
予算額	歳出	計	4,026 千円	歳出	計	4,026 千円	歳出	計	4,026 千円
		特定財源	1,000 千円		特定財源	1,000 千円		特定財源	1,000 千円
	歳入	一般財源	3,026 千円	歳入	一般財源	3,026 千円	歳入	一般財源	3,026 千円
	計	4,026 千円		計	4,026 千円		計	4,026 千円	

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。
 本市の一つの伝統であり、長塚節のふるさとという地域特性を全国に発信するために大いに盛り上げていくべきである。ただし、事業内容を精査、分析し、見直しを図るべきである。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊦

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

市内小中学校や高等学校への積極的な作品応募へのさらなる周知を図り、「長塚節のふるさと文学賞」にふさわしい郷土の文化継承事業となるよう、現行どおり継続とする。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㊦

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容